



町長のまちづくり奮闘記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【新年度がいよいよスタート…】

今年は例年になく雪が多く、雪解けが遅いかと思いましたが、雪解けも一気に進み、本州では例年より早いペースで桜の開花のニュースが届いております。桜前線が津軽海峡を渡り、広報が町民の皆様が届くころには、桜の便りも届いていることと思います。

いよいよ平成三十年度がスタートいたしました。来年には年号が変わる予定となっておりますので、実質的に平成の時代の最後の年度となります。町民の皆さんは、平成の時代をどう感じているでしょうか？

私は、昭和生まれですから、昭和・平成・新年度の三つの時代を生きることとなります。

いろいろな場面で、この前までは、大正・昭和・平成の三つの時代を生き抜いたという、フレーズを使わせていただくことがあります。今まさに

自分がそれを実感する時代がくるとは思いませんでした。

四月は、入園式や入学式等の行事が多くあります。四月五日（木）に、認定こども園福島保育所の入園式が行われ出席をさせていただきました。

今年の入園者数は、六十二人でのスタートとなりますが、その内二十人が新規入園者となっております。入園式では、子供たちの元気な歌声がホール一杯に鳴り響いて、子供たちから元気をいただきました。

四月六日（金）に、小・中学校で入学式が行われました。

福島小学校では、ピカピカの一年生が緊張しながらも元気に一人ひとり、しっかりと返事をしております。

また、二年生以上の在校生がキロロの「ベストフレンド」という歌で歓迎してくれましたが、素

敵な歌声が会場いっぱいに広がって、とても印象に残りました。

歌詞の中で「あなたの笑顔に何度助けられただろう ありがとう ありがとう」というフレーズがありました。この子供たちも仲良くベストフレンドとなることを願うものです。

同日、午後から福島中学校でも入学式があり、二十一名が入学しております。

つい先月、小学校の卒業式で見た姿に比べて、制服姿も凛々しく少し大人に見えました。

岩井校長先生の式辞の中で、今年の福中のスローガンは「進んでチャレンジする」だそうです。ぜひ、全校生徒がこの一年間、いろいろなことに挑戦する姿を期待しております。

また、九日（月）には、福島商業高等学校でも入学式があり、今年も十四名の生徒が新たに入学し

ております。

年々子供の数が減少する中で、厳しい状況ですが、引き続き存続対策の充実に向けた取り組みを進めてまいります。

四月十日（火）には、福島幼稚園で入園式が行われ、今年も九名の園児となっております。

私は、福島幼稚園のイベントでいつも感じるのですが、園児たちによるハンドベルの演奏に心を癒されてきます。新入園児の歓迎では、五人の園児が手話ソングとベル演奏「春の小川」で新たな園児を歓迎してくれました。

「苟（まこと）に日に新たに、日々新たに、又日に新たなり」という言葉があります。

新年度を迎え気持ちを新たに、この教えのように昨日より今日、今日より明日と、日々精進を重ね、一日一日がより良くなるような「まちづくり」を目指したいものです。